

#### ■アドバイザーの紹介

- 山川和彦（麗澤大学外国語学部教授）

<http://www.reitaku-u.ac.jp/journal/2386/>

東京都出身。観光学・言語政策を専門とし、現在は訪日外国人の増加に伴う観光地の言語政策を主なテーマとして研究している。ゼミの学生や留学生と共に精力的に現場に赴き、現地の方々との交流も積極的に行い、フィールドはタイ、石垣島、北海道、みなかみ町、そしてイタリアの中でドイツ語を話している南チロル地方と幅が広い。大学院終了後、西武百貨店旅行事業部にて旅行業務全般に従事、一般旅行業務取扱主任者取得（現・総合旅行業務取扱管理者）、一方、公益財団法人水戸市芸術振興財団学芸員として水戸芸術館立上げに携わった経験から、地域における文化政策にも造詣が深い。出身地にある商店街を起点にしたまちづくりにも携わり、趣味は飛行機関連で、特によく揺れる小型のプロペラ機が好き。

#### ■コーディネーターの紹介

- 砂川亜里沙（麗澤大学地域連携センター専門職員）

<http://www.reitaku-u.ac.jp/region/about.html>

神奈川県出身。大学院で環境学・都市計画を研究し、卒業後は国際会議等の企画運営やコンベンション施設の運営やコンサルティングを担う民間企業に就職。G8サミットの現場運営を通じて国際交流や「海外から見た日本」を創る現場の面白さを知る。その後学生時代の活動を通じて柏の葉アーバンデザインセンター[UDCK]ディレクターとして柏市北部のまちづくりに従事し、2015年度より現職。学生の社会活動支援を通じて生き生き成長する姿を目にし、日々励まされながら大学間連携やボランティア活動支援にまい進している。

#### ■講師の紹介

- 山下美樹（麗澤大学経済学部准教授）

<http://www.reitaku-u.ac.jp/journal/1716/>

山梨県出身。専門は異文化コミュニケーション、成人教育。現在は「語り」を通じた異文化理解の促進を目的とし、ゼミ学生と「生きている図書館：ヒューマンライブラリープロジェクト」を行っている。また授業に社会貢献活動を取り入れ、理論と実践を結びつけるアクティブラーニングを実施している。20代で世界20カ国を巡り、民間企業を経験し、30代、40代はオレゴン州ポートランドで働きながら、ポートランド州立大学で修士号と博士号を取得。麗澤大学国際交流センター副センター長でもあり、留学のサポートをはじめ、大学を通じた日本と海外の架け橋となっている。